PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

09-160010

(43) Date of publication of application: 20.06.1997

(51)Int.Cl.

G02F 1/1335 G02F 1/1335

G09F 9/00

(21)Application number: 07-318411

(71)Applicant: KANSEI CORP

(22)Date of filing:

06.12.1995

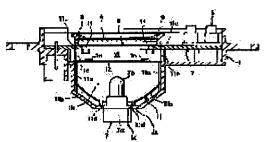
(72)Inventor: GOBE SABUROU

(54) LIQUID CRYSTAL DISPLAY DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To structure a transmission type liquid crystal display unit so that heat generated by a bulb hardly acts thereon and to enhance display luminance by using the bulb having the high luminance of emitted light by providing a heat insulating air layer between the transmission type liquid crystal display unit and the bulb.

SOLUTION: 1st and 2nd light diffusing plates 6 and 12 provided to be separated from each other are arranged between the bulb 7b attached in a case 1 and the transmission type liquid crystal display unit 4. The heat insulating air layer 13 is formed by the light diffusing plates 6 and 12. The conduction of radiant heat by the bulb 7b to the display unit 4 is restrained by the air layer 13. Thus, the heat deterioration of the display unit 4 is restrained and the durability thereof is enhanced. Since two light diffusing plates 6 and 12 are interposed between the bulb 7b and the display unit 4, light diffusing action is strong and the display luminance of the display unit 4 is uniformized.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

29.03.2002

[Date of sending the examiner's decision of

10.06.2003

rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

(19)日本開特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出關公與書号

特爾平9-160010

(43)公開日 平成9年(1987)6月20日

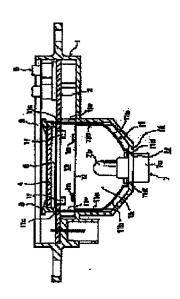
(51) int.CL*		课知此号	庁內建理費号	PΙ			技術等	示意 所
COSF	1/1226			GOZF	1/1885			
		580				630		
GOSE	9/00	336		GCPF	9/00	9/00 336F		
				老主法求	水精 水	情表項の数1	OL 侩	G JEO
(21) 出職遵明	等版平7-318411			(71) 勝興人	000001476 #15本金数のできます。			
日開出 (22)		平成7年(1996) 12月 8日			埼玉県大宮前日堂町2-7月1910番地 玄亚三郎 埼玉県大宮市日本町2-7月1910番地 株式			
				(74) 代越人	- , ,	ンセイ内 本多 小平	(F) 8 %)	

(54) 【発明の名称】 被基表示機能

(57)【要約】

【理题】 透過型液晶表示器と電球との部に動無空気 唇を設けて、電球による発熱が透過型液晶表示器に作用し難い構造とすると共に上記断熱空気層を形成するための空気速減極として光拡散板を使用して、透過型液晶表示器の背後における光の拡散度を高めて透過型液晶表示器による表示程度を均一化することにある。

【解決手身】 透過型液晶表示器と電球との間に互に霧 設される2枚の光拡散板を配置して、それら2枚の光拡 散板相互間を断熱空気滑に構成した。



【特託請求の総例】

【請求項 1】 液晶表示装置のケース (1) 内に、透過型液晶表示器 (4) と、該透過型液晶表示器 (4) の背後から、該透過型液晶表示器を透過照明するための電球 (7 b) を具備せしめている液晶表示装置において、上記透過型液晶表示器 (4) と電球 (7 b) との間に宜に隣設される2枚の光拡散板 (5), (12) を配置して、それら2枚の光拡散板相互間を断熱空気層 (13)に構成したことを特徴とする液晶表示装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、透過型液晶表示器を用いる液晶表示装置であって、具体的には、透過型液晶表示器の裏側に光速を配置し、その光源により透過型液晶表示器を透過期明する液晶表示装置において、上記光速からの発熱が透過型液晶表示器に熱低塔されにくいようにして透過型液晶表示器の耐久性を高め、さらには透過型液晶表示器による表示程度の均一性及び高程度表示を行なうことができる液晶表示装置に関するものである。

[0002]

【従来の技術】例えば自動車に設備される時計表示を、 通過型液晶表示器を用いて行なう従来の液晶表示装置構 造として、図3に示す如き構造のものがある。

【ロロロ3】以下、この従来例の構造について説明す。 み

【0004】1は時計ケースであって、この時計ケース 1は、その正面に後述する回路基板、フィニッシャ等を 嵌合させるための間口部1mが形成され、またその時計 ケース1の奥部には、後述するランプの収納凸部1mが 形成されている。

【0005】また時計ケース1の内部には、回路基板2のケース内嵌入時に、その回路基板2の位置決めを行なう複数のリブ10が設けられていると共に、その時計ケース1の上下両壁面1d。1eには、回路基板保止爪1fが形成されている。さらにその時計ケース1の疑口部1e辺縁には、フィニッシャ固定用の保止孔1gが形成されている。

【00.0.6】前記ランプ収納凸部16の実面16にはランプを取付けるためのソケット貫通係止孔11が容録されている。

【0007】2は国路基板であって、ごの国路基板名には、透過型液晶表示器の取付装置に対応して透過光用の窓孔2aと、後述するホルダの保止孔2bが形成されており、さらにその国路基板2面には透過型液晶表示器を駆動するための10時からなるドライバ2o、及び後述するラバーコネクタが接触される端子部2d、及びラバースイッチに対応する固定接点2aが設けられている。【0008】3は前記端子部2dと接続されるラバーコネクタであって、このラバーコネクタ3を介して、端子

部2dが時刻表示を行なう透過整液晶表示器4の端子部 4gに接続される。

【0009】5は前記の固定検点2eに対数されるラバースイッチであって、このラバースイッチをは時刻修正 贈のノブラッが設けられている。

【0010】6は透過型液晶表示器4の表側に位置されるフィルターであって、このフィルター6は、ランプクからの光を拡数させ均一化させるための役割を有している。またこのフィルター6は、固路基板2と透過型液晶表示器4との間に配置されるため、ラバーコネクタ3を適ける間口6.9が変数されている。

【ロロ11】前記ランプ7は、リード線76付きパヨネット式のソケットホルダ76に、ウェッジベース型電域フトが装着されているものであり、そのリード線76の 編部にはコネクタフェが棒棒されている。

【0012】8は透過型液晶表示器4、フィルタ6、及びラパーコネクタ3を組み込むホルダであって、このホルダ8には、透過型液晶表示器4の表示部に対応する関口窓86と、このホルダ8を前記国防基板2の保止孔26に挿入係止させる爪部86が形成されている。

【0013】 なお前記のコネクタ7 d には回路基板 2に 接続されるリード語 2 f が接続されている。

【0014】9はフィニッシャで、途明差色基板から形成されており、該フィニッシャの外形は対記ケース1の開口1 aの内閣と概略同じ大きさに形成されている。また該フィニッシャ9の液晶表示器4の表示部に対応する表示を9 a 以外の範囲は黒色印刷されている。さらに対記ラバーズイッチ5のノブラもの装金位置に対応する位置には貫通孔9トが形成され、フィニッシャ9の長辺側域面には、対記ケース1の壁面1 a。1 d に形成されているフィニッシャ圏車用孔1 d に対応するリブ9 a を形成している。

【0015】そして上記各構成部材による液晶表示装置 の組付け手順は、先ずホルダ8へ速通型液晶表示器 4を 嵌め込み、次いでその透過型液晶表示器4の表側にフィ ルタ6及びラバーコネクタ3を重ね合せた上でそのホル **ダ8の名爪部8aをリード線21を予め接続している面 跆拳板2の各係止孔25に係止させる。次いでラバース** イッチ5の表側に突張した不図示のリブを、匝路基協2 の装着位置に形成されている不図示の係止乳内へ圧入し て固定することにより、回路参板2上に形成されている ·接点2eとラバースイッチ表面に形成されている接点部 とが対応して配置され、国路基板組立体が構成される。 【ロロ16】次にこの回路基板組立体を除計ケース1の 開口部1aより時計ケース1内へ依め込み、回路挙抜2 の表面が各リブ1cに歯接するまで押し込むとともにそ の時計ケース1の上下筆面1d,1eに形成されている 回路基板係止爪1 fにより、回路基板2の上下辺縁を挟 持させて時計ケース1内に阿路禁板銀立体を保持させ る。このとき、御路基板 2 に接続されている。リード森

2 1 は、ケース1 に設けられているり、ド線引出 UD 1 」より引き出し、その後引出し口 1 」にはグロメット 2 を参照する。

【〇〇17】次にその時計ケース1の関口部1aに形成されている各係止孔1gに、フィニッシャ9の辺縁に形成されている各リブ9cを係止させる。その後時計ケース1の骨面に形成されているソケット貫通係止孔11内へ、ウェッジペース型電域7bを嵌入しており、さらにコネクタ7aに接続されるリード線7cを接続しているソケットホルダ7aを嵌着して液晶表示装置が完成されるものである。

[0018]

【発明が解決しようとする課題】このようにして構成 (完成) される従来の液晶表示装置では、ウエッジベース型電球チャの点灯による輻射性が、回路基板を及びフィルター6を縁て液晶表示器4へ熱伝導されるために、耐熱温度の低い液晶表示器4にあっては、上記電域チャによる発熱により乳化されやすく液晶表示装置としての耐久性に欠けるものであった。

【0019】また透過型液晶表示器4による表示規度を高めるために、関度の高い電球7トを使用することが望まれるが、頻度の高い電球7トは発熱量が高く、透過型液晶表示器4人の熱的重影響が大であるので、上配透過型液晶表示器4の表示規度を高めることが不可能であるといった不具合があった。

【0020】本発明は、かかる従来の不具合に名ぼしてなされたもので、遠過型液晶表示器と、該達過型液晶表示器の裏側に配置する電球を使用する液晶表示器置において、上記透過型液晶表示器と電球との間に断熱空気度を設けて、電球による発熱が透過型液晶表示器に作用し難い構造とすると共に発光μ度の高い電球を使用して表示環度を高めることも可能ならしめることを第1の目的としている。

【0021】さらに本発明では、上記断熱空気層を形成するための空気速敏板として光虹散板を使用して、遠過型液晶表示器の背後における光の拡散度を高めて遠過型液晶表示器による表示程度を切っ化することを第2の目的としている。

[0088]

【無額を解決するための手段】上記それぞれの目的を達成するため、本発明では、液晶表示装置のケース内に、透過型液晶表示器と、該透過型液晶表示器の身後から、該透過型液晶表示器を透過照明するための電域を具備せしめている液晶表示器を通過において、上記透過型液晶表示器と電域との間に互に顕設される2枚の光拡散板を配置して、それら2枚の光拡散板相互間を断熱変数層に構成した液晶表示装置であることを特数としている。

[0023]

【発明の実施の形態】以下に本発明を図1及び図2に示す実施形態に基づいて詳細に説明するが、本発明では図

1において示した第1の光鉱散版6と、第2の光鉱散版12とで断熱空気層13を形成せしめたことに特長を育し、従来例で説明した構造と同一構造体については、従来例で使用した符号と同一符号を付してその同一構造体についての説明は省略する。尚、本実施例では、さらに電域の光束の高効率化を計るため、反射板11を用いたものについて説明する。

【〇〇24】まず反射板11の構造について述べると、 この反射板11は、左右一対である反射部材118の組 合せにより構成されるものであって、それら反射部材1 1aは、錫メッキされた鋼板からなる熱學伝性材質であ る。この実施例では親メッキ領板を利用しているが、熱 導伝性材質で半田付け性がよく、反射特性の良好なもの であれば特に限定されない。これらの反射部材11gは ケース凸部1k内に配置され、電球7bの光を効率良く 透過型表示器4の表面に導くものであり、形状として は、一部湾曲面116を形成しており、該湾曲面116 はケース1内に装着されランプ7が取り付けられた時、 ・観珠ラ ンプァ のフィラメント部が強点位置になるように 放物面が形成されている。また該湾出面116の一方の 蝶部はケース1の内壁面に沿って直線的に御路蒸振2の 裏面まで延出し、さらに該延出部場部の中央部に回路基 板でに設けられていて透孔でも内に挿入され、しかもそ の透孔2ヶに設けられているランドと電気的に接続され るための舌片 1.1 c が形成されている。また該湾曲面 1 15の他編はケース1の創業に沿って突壁面15に向 い、この突盤面16内でその壁面に沿って折曲し、ラン ファと接続するための接触片11さを形成している。

【0025】さらに上記双方の反射部材11eには排熱用の速孔11eが穿散されている。12は、第2の光拡散板であって、この第2の光拡散板12の左右両側辺縁には、上記反射部材11eが保合される切り欠き12eが、またその上下両側辺縁には、ケース1内で位置決めされる切り欠き12eが形成されている。

【0026】その他の標準は、従来例で示した構造と同 してあるが、図示のフィルター6は、前記第2の光鉱散 様12と腐数される第1の光鉱散板として説明する。

【0027】次に上記様成割析を使用する液晶表示機能の銀立手段について述べると、先ずケース1内へ、反射板11を構成する一対の反射部材11をを減入し、さらにそれらの反射部材11をの緩脱片11がをランプソケット支退保止孔内に支出(毎出)されるようにして一対の反射部材11をケース1内に進付ける。

【0028】次に、ケース1内に独付けられた双方の反射部材11を相互間に第2の光拡散板12の切り欠き12。部を嵌め込み、その第2の光拡散板12の辺縁をケース1に設けられている係止爪1nによって脚定する。【0029】次に上記ケース1内に、予め第1の光拡散板5、ラバーコネクタ3、透過整液晶表示器4、ラバースイッチ5等を傾付けてなる回路整板2を嵌め込むが、

この数の込み時において回路基振2は一対の反射部材 1 aの前端線で受け止められ、それら反射部材 1 1 aの前端線に形成されている舌片 1 1 a が 回路整振2に設けられている透孔2ト内に嵌入されて、反射部材 1 1 a と回路基振2との電気的接続がなされる。よって電球が強み付けられたソケットと回路基振2とが反射振1 1 を介して、電象的に接続されることとなる。またこの回路基振2は、ケース 1 に設けられている回路基板係止爪1 1 により保持され、第 1 の光拡散板 5 を保持する回路基板 2 と上記第 2 の光拡散板 1 2 との間には間隙、つまり図 2 で示す断熱空気層 1 3 が形成されるものである。

【0000】またこの新熱盤鉄曜13は、双方の反射部材11aに形成されている透乳11eを程で断熱空気度13外へ通じており、さらにケース1に生じている機器を経でケース外へ通じている。

[0031]

【発明の効果】このように本難明では、ケース1内に取付られている電球7 bと透過型液晶素示器4 との間に、互いに瞬酸される第1の光拡散板6 と第2の光拡散板1 2を配置して、これら光拡散板6,12により形成される断熱空気層13 を形成したものであるから、その断熱空気層13 によって、電球7 bによる輻射熱の透過型液 命表栄器4 への原伝導が抑制され、これによって透過型

液晶表示器 4 の熱的劣化が抑えられ、その耐久性を高めることができる。

(0032)また本発明では、電球フトと透過型液晶表示器4との間には、2枚の光放数振ら、12が介在されていることから、光拡散作用が大であって、透過型液晶表示器4の表示輝度が均一化される。

【0033】また本発明では、新熱空気層透過型液晶表示器4に作用される輻射熱が抑制されていることから、 高地度電球の使用も可能であることから、必要に応じて 透過型液晶表示器による表示緯度を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明よりなる液晶表示装置の実施形態を示す 分解斜視図。

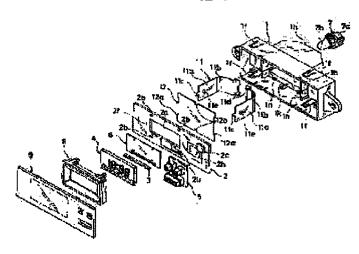
【図2】 本発明よりなる液晶表示装置の実施形態の平断 面図

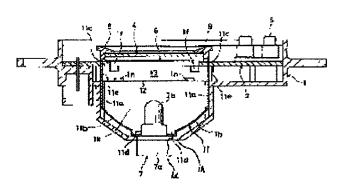
【図3】従来の液晶表示装置の分解斜視図。

[符号の説明]

1 1…反射板	1 1 a …反射部材
116…湾曲面	110 "香片
1 1 d …接触片	11e…透孔
12…第2の光拡散板	1 2 a …切り欠き
1.2.6…切り欠き	13…断热空氛度







[B3]

